

5月22日 有田川町きびドーム前集会・2025年原水爆禁止国民平和行進



中山正隆有田川町長



5月22日（木）有田川町きびドーム前の出発集会です。木根敏幸事務局長が進行します。最初に、有田川原水協代表代表の山本正明さんがお亡くなりになった事に触れて、山本さんの平和活動について紹介がありました。きび9条の会・喜多敏宏さんの開会挨拶でも「山本さんが2月に亡くなって会葬御礼のハガキの中に山本さんとお父さんが戦争で亡くなってそれが山本さんの平和の原点になっていたと書かれていたのにすごく感動しました。」と山本政明さんの平和の思いが紹介されます。

集会に出席された中山正隆有田川町長より「世界中で悲惨な事が起こっている。この中で原爆や水爆をちらつかせて交渉を行っている。もってのほかの事だと思います。日本は唯一の戦争被爆国です。戦後80年立ちますが、先日も戦争の慰霊祭を行いました。戦争を知らない世代が大半を占める様になり、参加者も年々減っています。お孫さんが参加してくれるところもたくさんある。一人でも参加してくれるなら止めたらかんなどと思っています。」との平和の思いが語られました。坂頭徳彦副町長も参加いただいています。次いで、堀江眞智子町会議員からは「ロシアのウクライナ侵略から3年3ヶ月が経ち、たち4万6千人の軍人の死者、1万2千人前後の民間人の死者が出ており、ロシア兵も10万人から20万人が戦死したと言われています。2年前10月にはじまったイスラエルによるガザ侵攻による死者も5万2千人を越えたと言われています。」と連帯の挨拶です。県実行委員会からは、核兵器の廃絶と日本政府は核兵器禁止条約に参加せよをアピールし、県下30市町村を平和行進で繋いでいる事を報告しました。次いで、わかやま市民生協の岡野さんより決意表明をします。最後に「有田川町集会アピール」を村上美保子さんが読み上げ、拍手で確認されます。有田川町平和行進は、有田川・きびドーム前から吉備中学校前を通り下津野東の交差点手前ま歩きました。5月23日は、広川町～湯浅町の平和行進です。 県原水協事務局